岐阜大学附属図書館報
ISSN 0915－8960
Zun dō
寸 胴
THE GIFU UNIVERSITY LIBRARY BULLETIN
第22号 1997. 6

目　次

図書の電子化と岐阜大学附属図書館
佐々木重雄 …… 1
館蔵資料紹介No.13
伊澤修二の「楽石自傳　教界周遊前記」について
末永　豊 …… 3
WWW版OPACの紹介 …… 5
基本図書購入リスト …… 7
教官寄贈図書（本館・分館所蔵分）…… 9
平成９年度附属図書館関係委員会委員 …… 9
職員の異動 …… 9
お知らせ …… 10
年間開館スケジュール …… 10

図書の電子化と岐阜大学附属図書館

佐々木　重　雄

最近の流行語といえば「インターネット」「マルチメディア」「バーチャルリアリティ」「携帯電話（ＰＨＳ）」等であり、今は誰の目から見ても情報化時代であろう。３年程前に国際会議に出席するため香港を訪れたときの事であるが、香港の若者たちが当たり前のように携帯電話を手にし、街の往来を大きな声で話しながら歩く姿を頻繁に見かけた。その時異様に感じた光景が、今思い出してみれば現在の日本の姿そのものである。こうして考えてみると私の眼から見ても日本は情報産業が著しく遅れていたように感じる。最近になって、日本でも携帯電話と共にようやくインターネットなるものが普及してきた。その主な原因はパーソナルコンピュータの高速化とWWW（ワールド・ワイド・ウェッブ）であろう。私はインターネットの事はよく知らないが、これまではインターネットと言えば文字による情報伝達手段が主だった様に思える。WWWはブラウザと呼ばれるソフトウェアを用い、文字だけではなく映像や音声も使用して情報伝達を行う通信手段であり、これまで関心のなかった一般の人たちにも広く受け入れられるメディアとなっている。この結果、今やどんな人でもパーソナルコンピューターと通信モデム等があれば、様々なサービスプロバイダやパソコン通信事業社を通じてインターネットに入り込み、机上から世界のありとあらゆる情報を引き出すことも、ショッピングすることも、パーソナルコンピューターの画面を通じてテレビ電話のようなこともできるようになった。このようにネットワーク環境が充実していく一方、一般図書、辞書、雑誌などのあり方も少しずつではあるが変わってきている。最近では、英和・和英辞典、国語辞典、百科事典など様々な辞典がＣＤ－ＲＯＭ、電子ブック等の形で電子化されてきている。これらの利点は検索機能が優れており、引きたい語句を瞬時に出せる事である。更に、付加価値として音声やビデオ映像が入っていることもあり、文字や写真より遥かに豊かな情報を得ることが可能である。また、検索機能の便利さから分野を問わず様々な情報データベースが電子化されている。一般図書の中でも、児童文学の分野では映像や音響効果を駆使し、子供により親しみ易くしたものも現れている。しかしながら、現在のパーソナルコンピューターのモニターは、文字が読み易いとされる360dpiのプリンタに比べ大体３倍程解像度が低い上、にじみや低コントラストのため文字がぼやけて見え、読み易いとは言い難い。つまり、検索機能がいくら優れていても一般図書のように膨大な文章量

のあるものを純粋に読むだけとなると、モニター上でいくら文字サイズを大きくしてもかなり目に負担がかかると考えられる。また、本のように手軽に持ち運びできるような簡便さはない。従って、書籍、辞書、雑誌等の電子化の現状から率直に言えることは、検索を主体とした2次資料的な辞書、データベースに関して電子化は非常に歓迎されるが、一般図書となるとやはり本のほうがまだ優れているということである。実際に一般図書は全くといっていいほど電子化されていない。とは言ったものの、一般図書の電子化は将来のパーソナルコンピュータの発展や地球環境問題からくるペーパーレス化から考えて（何年、何十年先かはわからないが）避けられない動向であろう。

書籍の電子化とネットワーク化の波は将来の図書館のあり方に影響を与えるに違いない。例えば、書籍が電子化されれば、学内ＬＡＮを通じて図書館に行かなくても研究室若しくは自宅から書籍を閲覧する事ができるようになる。わざわざ図書館に足を運ばなくとも書籍や人文・科学雑誌の検索・閲覧・複写ができるわけである。

さて、夢物語ばかりを語っても仕方がないので、岐阜大学附属図書館の図書の電子化及びネットワーク化の現状に目を向けてみよう。現在、岐阜大学附属図書館では、OPAC、LINUS／Uなどの蔵書検索システムを導入し、学内ＬＡＮを通じて研究室から（勿論自宅からも）図書館に所蔵されている蔵書の内約45万冊の所在情報検索を行うことができる。また、Chemical Abstruct on CD-ROM と医学部分館のMEDLINE（医学文献情報データベース）についても同様のことができる。Current Contents on CD-ROM、雑誌記事索引CD-ROM、朝日新聞CD-ROM等のデータベースに関しては図書館にあるコンピュータ端末を用いて検索できるようになっているが、まだ学内ＬＡＮには乗っていない。この様に岐阜大学附属図書館においてもデータベースのような2次資料に関してはある程度電子化及びネットワーク化されてきている。

図書の電子化については賛否両論あるとは思うが、大学の図書館としては更なる電子メディアの充実や電子図書の閲覧システム及びネットワーク化は将来必要になってくると思われる。しかし岐阜大学の場合、附属図書館の予算の大半は大学で決定された各部局の3事項比率と例年の予算執行状況に従って各部局の予算から負担しているため、電子図書及びデータベースの閲覧システム、ネットワーク化といった大型の設備費、電子情報資料費を捻出することは非常に困難であり、学長経費などの特別予算に依存しているのが現状である。また、ここでは詳述しないが、既にネットワーク化されている2次資料に関してもその維持運営を他部局に依存している部分があるため今後の動向によっては維持が困難になる恐れがある。電子図書にしても貸出・閲覧のみならば通常の図書と大差ないが、将来学内ＬＡＮを通して閲覧できるようにする場合、著作権等の問題が生じ、恐らく高額な経費が必要になると考えられる。即ち、附属図書館が今後も情報データベース・ネットワークの存続・発展をさせるのであれば、現在の図書館運営を見直す必要が出てくるであろう。現状の問題点を簡単にまとめれば、第一にこれまで電子図書及び電子情報データベースについての認識がなかったため、取り扱いの規定が不明確である事。第二に、現行の附属図書館の予算は当然従来の図書のあり方に合わせて組んであるため、電子図書の閲覧システム及びネットワーク化等の高額な投資を行う時、その予算基盤がはっきりしていない事である。これまで附属図書館は単純に利用者の要望と社会的要求及び電子情報技術の変化（？）に応えて図書の電子化を進めてきたのだと思う。しかし、それに関わる必要経費の増大を考えると、附属図書館から提案された高額な電子情報資料費を各部局が黙って認めるとは考えにくく、もはや大学全体としての方針を持たずに電子化を進めるわけには行かない段階になっているのではないだろうか。岐阜大学として、これから増加する電子図書、特に高額なデータベースのネットワーク化に関してどのように取り扱っていくか指針を示す事ができれば、必然として予算等の問題は解決されると思われる。勿論、電子化を行わないというのも一つの結論であろう。何れにせよ、もう附属図書館だけの問題でなくなってきているのは歴然としている。

最後に、確か某コンピューター会社のテレビ・コマーシャルで、おじいさんが孫娘にインターネットを通して資料を集め博士号を取得したことを仄々と語るシーンがあった。岐阜大学附属図書館をこんな風に活用できたらと考えるのは私だけなのだろうか。今、岐阜大学附属図書館が抱える図書の電子化・ネットワーク化に関わる問題の一端を知っていただき、図書館の活性化につながれば幸いである。

（ささき　しげお：工学部助教授）

館蔵資料紹介　No.13

伊澤修二の「楽石自傳　教界周遊前記」について

末永　豊

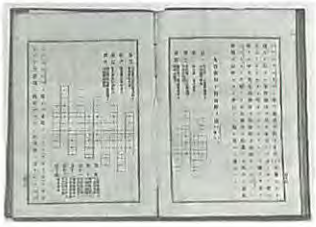
明治5（1872）年8月に「…必ず邑に不學の戸なく家に不學の人なからしめん事を期」して学制が制定、頒布された。小学校は6歳から13歳までとされ、「男女共必ス卒業スヘキモノ」と定められた。小学校の教科をみると、綴字、習字から博物学大意、化学大意まで18教科が置かれることになっている。また14歳から19歳までの中学校では国語学、地学、幾何代数学等が教えられることになった。興味あるのは音楽で、小学で唱歌、中学で奏楽として挙げられながら、唱歌は「當分之ヲ缺ク」、奏楽は「当分欠ク」とされ、実施されなかったことである。教師がいなかったし、教科書も教育法も開発されていなかったためといわれている。

文部省も手をこまねいていたわけではない。このころ欧米から音楽書や歌集、教科書を集中的に購入している。また、学制にともなって5年以降東京をはじめとして全国の7大学区に設置されていく官立師範学校に対して、唱歌、奏楽の教材や教育法を開発し、その実践例を文部省に上申するよう指示していたらしい。

この時期に伊澤修二という逸材が学校教育にたずさわったことは、唱歌教育の実現とその後の発展にとって決定的な意味をもった。唱歌教育だけでなく、日本における音楽の近代化は伊澤をぬきにしては考えられないのではないか。

伊澤修二は1851年に信州伊那郡に生まれ、1917年に没している。かれは『教授真法（初編）』（明治8年）、『音楽取調成績申報要略』*（明治24年）、『楽石自傳　教界周遊前記』**（明治45年）等の著作をのこし、あとの2冊が本図書館に所蔵されている。予期せず見つけたときは、すごい、と快哉を叫びたくなった。門外漢ながら、各々の分野における前の2冊の価値は高いのではないかと思う。

伊澤が直接音楽教育に携わるのは、明治7（1874）



年に学制にもとづいて新設された官立愛知師範学校の校長として名古屋に赴任してからのことであろう。校長としての仕事のかたわら、「小学教授法」を担当する荒野文雄という教員の協力を得て著したのが『教授真法（初編）』で、これは「欧米教育論からの翻案としては本邦最初というべき教授法書」と評価されている。

『教界周遊前記』は抜群におもしろく、自伝（口述）だからどこかにはったりがあるのかもしれないが、だとしても伊澤を知るうえで第一級の資料であることに変わりない。

この自伝を読んで感心するのは、自己改良という点ではためらうことなく向上の機会を求めるかれの姿勢、気概であろうか。さまざまな職場、立場、分野に身を置いた人だが、どこにいてもパイオニア的仕事をしたマルチ人間伊澤の秘密はこの辺にありそうだ。

たとえば英語の勉強。明治2（1869）年再度江戸に来た伊澤は正則英語（正則という語も伊澤が考えたものらしい）、つまり本も読めるし、実際に話せもする英語を勉強したいと思うや、中濱（ジョン）萬次郎を発見して通いつめ、中濱が普仏戦争視察団に同行して不在となると、アメリカ人宣教師につく。のちにアメリカ留学中、フィラデルフィアの博覧会場で不思議な文字の掛図をみかけ、ここで通り過ぎないのが伊澤らしいというべきか、かれは博覧会の理事に掛図のいわれを訊き、「唖子に教える文字」であると知ると、考案者のグラハム・ベルをボストンに訪れ、「唖子にさへものをいはせる」ことのできる氏なら自分の「非常に悪い」英語の発音を矯正してくれるに違いないと教えを乞う。私はベルのことは電話の発明者としてしか知らないが、先生と弟子とのあいだで、電話をとおして最初に話されたのが日本語だったというのは本当だろう。ベルも伊澤から日本語を習いたいと言ったらしいから。伊澤はベルの「視話法」をもとに吃音矯正法や、国語正音法を

開発し、また台湾での日本語教育に活用している。

たとえば生き方の転換。老いをもって尊し、とする「老成主義」に見切りをつけること。官立愛知師範学校時代、同僚も学生も23歳の校長より年長だったこともあり、「余の老成的であったのは誠に著し」く、40歳以上にみられていたという。ところが留学先の「ブリッヂヲートル師範学校」では若者が嬉々として遊び戯れるさまにカルチャーショックを受け、ここが伊澤らしいのだが「同しく七八十年の寿命なれば、則ち若々しく面白く暮らしたが可いと」考え直している。国家を背負って留学した時代にこれはかなりたいへんなことだったにちがいない。

たとえば音楽。伊澤は上記師範学校で歌だけはどうしても歌えなかったらしい。校長は「貴国の音律は我米国のとは違ってをる」からと理解を示し、授業免除を認めたが、これでは国に帰れぬと「三日許は泣いて悲しんだ」という。悔し涙にくれるのは伊澤でなくてもありうる。伊澤らしいのは、やはり向上したいという気概を奮い立たせることだろう。かれはここでもよき師を求めて、ついにボストンにルーサー・ホワイティング・メーソンという音楽教育者を見つけだす。明治12（1879）年に音楽取調掛が設置されるとメーソンはさっそく招聘され、日本の音楽教育の発展に尽力した人であるから、良き家庭教師との出会いというにとどまらない。

童謡「ちょうちょう」の原曲はスペインともドイツともいわれ、ドイツではフランスの曲とする説もあって確定できない。歌詞は野村秋足（あきたり）である。官立愛知師範学校の校長となった伊澤は、文学、地理学、史学の教員野村に命じて、名古屋近辺の童謡を収集させている。学制に定められながら実施のめどの立たない唱歌の実験、実践に伊澤の意図があった。じっさいかれは自分の唱歌教育の実践例を文部省に報告している。ところで野村が伊澤に提出した童謡は「蝶々」「ひらいた　ひらいた」等の３つである。尾張地方のわらべ唄「蝶々」はこう歌われていた。

蝶々とまれ、菜の葉にとまれ、
なのはがいやならこの葉にとまれ。

これを野村は次のように改作している。

蝶々蝶々。菜ノ葉に止レ。菜ノ葉ニ飽タラ。
桜ニ遊ヘ。
桜ノ花ノ。栄ユル御代ニ。止レヤ遊ベ。
遊ベヤ止レ。

現在の「ちょうちょう」との大きな違いは「栄ユル御代ニ」だった点で、

野村の国学者たる所以でもあるが、伊澤が「而して当時歌詞をば多少代えたが曲をば童謡其ままに採用し、これに遊戯を加えて実行した」といっているとおり、官立愛知師範学校時代の「蝶々」はわらべ唄の旋律で歌われていたのである。野村が改作したわらべ唄の歌詞が、こんにち私たちの知る旋律と出会うのは、ボストンのメーソン宅でのことである。「氏はラブレローの譜を余に示し、これは日本の子供の好に合ひさうな曲であるから、何か日本語で適當な歌を附けたら可からうと云った、そこで余は此蝶々の歌を附けて見た所が、偶然にも誠に能く適合し、メーソン氏も大に喜ばれた」と伊澤は回想する。別のところでは「今日我国学校唱歌発達の仁子（タネ）ともいふべきものは、早くもメーソン氏家隅の一室中に成立てるなりけり…」とも述懐している。互いに関係のない日本の歌詞とヨーロッパのメロディーとの偶然の一致は、愛知時代の唱歌確立の努力が間違っていなかったことをかれに確信させ喜ばせたことだろう。じっさい伊澤は唱歌を置く必要とその実施可能なことをアメリカから文部省に訴える。これがのちの音楽取調掛の設置につながる。取調掛の課題は「内外音楽取調」、「東京師範学校附属小学校、及女子師範学校附属幼稚園に実施」、そして唱歌を教えることのできる「傳習生」の養成であった。

音楽取調掛はメーソンを迎え、明治14年からの「唱歌掛図」、15年からの「小学唱歌集」、22年の「幼稚園唱歌集」と成果をあげていく。

「小学唱歌集」におさめられたとき、「蝶々」は稲垣千頴（ちかい）作の二番を与えられていた。戦後の昭和22（1947）年に文部省は『一ねんせいのおんがく』を発行し、ここで「栄ユル御代ニ」が「はなからはなへ」にかわるとともに、稲垣による二番は削除された。前者は超国家主義的なものを排除するという編集意図からして、後者は歌の主題を散漫にしないという配慮が感じられ、妥当な扱いだったと思う。

なお『音楽取調成績申報要略』については山住正己氏校注の『洋楽事始　音楽取調成績申報書』***がある。

（すえなが　ゆたか：地域科学部教授）

（配置場所：集密書庫*760/1,**289.1/220, 3 階開架***080/Toy）

WWW版OPACの紹介

平成9年2月の機種更新に伴い、Netscape NavigatorやInternet Explorerなどのインターネット用のブラウザー・ソフトを使って、閲覧室だけでなく、研究室や学外からも岐阜大学が所蔵しているコンピュータ入力済みの約４５万冊の図書と約１万２千種類の雑誌の書誌・所在情報の検索（WWW版ＯＰＡＣ）ができるようになりました。ＯＰＡＣのアドレスは、http://133.66.17.103/linusu_www.html です。

なお、学外からは、岐阜大学附属図書館ホームページから利用できます。

Ｉ．検索の手順

①図１の画面から検索開始です。図書・雑誌や和・洋の資料区分を意識することなく、コンピュータに入力してある全資料の書誌・所在情報を一括検索できます。もし和図書のみや洋雑誌のみといった資料区分を限定した検索を行うときは、検索種類の中の資料区分をクリックして指定してください。

検索開始画面（図1）

②探したい資料についての手がかりを該当する検索項目の入力領域にキーインして、検索開始 ボタンをクリックします。例えば、エンデ著の「モモ」という図書を検索する場合、次のようにキーインして 検索開始 ボタンをクリックします。

書名	：	モモ
著者名	：	ENDE

③図2の簡略書誌一覧リストが表示されるので、見たい書誌の青色文字の部分をクリックすると図３の詳細書誌と所在情報が表示されます。1画面に表示しきれませんので、右端のスクロールバーでスクロールさせてください。もし、その本が貸出されているときは、所在情報の中の図書状態が貸出（返却期限日）と表示されています。

簡略書誌一覧画面（図２）

書誌・所在情報表示画面（図３）

④各検索項目間は論理積検索されます。同一項目内論理積検索を行うときは、検索語と検索語の間に１桁以上の空白を入れます。例えば、誌名にPHYSICS と JOURNALの両方のことばをもつ雑誌を探す場合は、次のようにキーインして 検索開始 ボタンをクリックします。

書名　：PHYSICS JOURNAL

同一項目内論理和検索を行うときは、検索語と検索語の間にORを入れます。例えば、書名にインターネットあるいはINTERNETのどちらかのことばをもつ資料を探す場合は、次のようにキーインして検索開始 ボタンをクリックします。

書名　：インターネット OR INTERNET

⑤前方一致検索をするときは、検索語の末尾に＊(アスタリスク)記号を付けます。例えば、 Librar＊とすれば、Library、Libraries、Librarian などがヒットします。

Ⅱ．書名（雑誌名）からの検索

書名項目に検索語を入力します。書名項目からの検索は、「本書名（本誌名）」のほかに「副書名（副誌名）」、「叢書名」、「各巻書名」、「原書名」等からも検索できます。書名を正確に知らなくても、書名のどこかにある「ことば」で検索できます。

①和書の場合、一般的にはヨミを分かちしてカタカナで入力します。全角でも半角でもかまいません。漢字や平仮名を用いた場合は、表記形での検索となります。検索語の末尾に＊を付ければ、書名の先頭から入力したところまでの前方一致検索となります。書名を知っていて検索する場合や書名のヨミがよく分からないときに効果的ですが、カナデータしか入っていない古い図書や書名の途中にあることばは、検索できません。

例えば、情報検索ということばがある資料を検索する場合は、例１のようにキーインしてください。

ジョウホウ ケンサク → ○
ジョウホウケンサク　→ ×

必ず分かちして（単語と単語の間に空白を入れる）検索してください。

＜検索例＞　　1997.4.14　検索

検索語	検索結果件数
例１　タイトル：ｼﾞｮｳﾎｳ ｹﾝｻｸ	３２件
例２　タイトル：じょうほう　けんさく	０件
例３　タイトル：ｼﾞｮｳﾎｳｹﾝｻｸ	０件
例４　タイトル：情報検索＊	３件
例５　タイトル：情報検索	１件

②洋書の場合、原綴（英数字）で検索語を入力します。文字種は、大文字でも小文字でも、また半角でも全角でもかまいません。ウムラウトやアクサン等の音標符号は無視してください。

例　ŒUVRES→OEUVRES
　　WÖRTER→WORTER
　　L'ART → ART

Ⅲ．著者からの検索

著者項目に検索語を入力します。著者項目からの検索は、「著者」のほかに「編者」や「訳者」等からも検索できます。また、個人著者だけでなく団体著者からも検索できます。著者名を正確に知っていなくても、姓や名だけでも、団体名の一部からでも検索できます。

①日本人名の場合、一般的には姓と名のヨミを分かちして（姓と名の間にスペースを入れる）カタカナで入力します。同姓同名の著者がたくさんいる場合や著者のヨミが分からないときに漢字を用いた表記形で検索すると効果的ですが、カナデータしか入っていない古い図書は検索できません。

例えば、大江健三郎の著作を検索する場合は、例１のようにキーインしてください。

オオエ ケンザブロウ → ○
オオエケンザブロウ　→ ×

必ず分かちして（姓と名の間に空白を入れる）検索してください。

＜検索例＞　　1997.4.14　検索

検索語	検索結果件数
例１　著者名：オオエ ケンザブロウ	６２件
例２　著者名：オオエケンザブロウ	０件
例３　著者名：おおえ けんざぶろう	０件
例４　著者名：大江健三郎	５件

②外国人名の場合、原綴で入力します。文字種は大文字でも小文字でも、また全角でも半角でもかまいません。なお、同一著者でもフルネームで入っていたり省略形で入っていたりする場合がありますが、＊記号を末尾に付けて前方一致検索すれば検索もれはなくなります。

基本図書購入リスト

平成８年度資料選定委員会によって選定された基本図書を購入しました。ご利用にあたっては、ＯＰＡＣで所在場所等をご確認ください。

＜基本図書＞

イネ機械作業講座（ビデオ全10巻）　農山漁村文化協会　（本館）
岩波講座地球惑星科学（全14巻）　岩波書店（継続受入中）（本館）
岩波生物学辞典　第４版 1996　（本館）
英和コンピュータ用語大辞典　日外ｱｿｼｴｰﾂ 1996　（本館）
オックスフォード動物行動学事典　どうぶつ社 1993（本館）
教育時論（復刻・第９回配本）　冬至書房　（本館）
現代学校教育大事典（全７巻）　ぎょうせい 1993　（本館）
講座「文明と環境」（全15巻）　朝倉書店　（本館）
国書読み方辞典　おうふう 1996　（本館）
最新増補版日本大百科全書(ニッポニカ)(全26巻) 小学館 1996(本館)
社会基盤の整備システム　土木学会 1995　（本館）
獣医学大事典　チクサン出版社 1989　（本館）
食料・農業問題全集（全20巻）　農山漁村文化協会　（本館）
新学校教育全集（全30巻）　ぎょうせい 1995　（本館）
大英図書館所蔵和漢書総目録　講談社　1996　（本館）
地球を救おう（ビデオ全10巻）　ジェムコ 1990　（本館）
中国本草図録（全10巻　別巻１）　中央公論社 1995　（本館）
西尾実国語教育全集（全10巻　別巻２）　教育出版　（本館）
20世紀の歴史（全19巻）　平凡社　（継続受入中）　（本館）
日本動物大百科（全10巻）　平凡社 1966(継続受入中)　（本館）
日本の食品産業（全３巻）　農山漁村文化協会　（本館）
農学大辞典　第２次増訂改版第２版　養賢堂 1991　（本館）
ﾊﾞｲｵﾃｸﾉﾛｼﾞｰﾏﾆｭｱﾙｼﾘｰｽﾞ 酵母編 農山漁村文化協会 1995（本館）
婦人;復刻版(全24巻 別冊１)　不二出版　（継続受入中）（本館）
松平文庫影印叢書（第１期全10巻）　新典社　（本館）
丸山眞男集（全16巻別巻１）　岩波書店　（本館）
冷泉家時雨亭叢書（全60巻）　朝日新聞社　（本館）
論文集内容細目総覧　1：記念論文集　日外ｱｿｼｴｰﾂ 1993（本館）
論文集内容細目総覧　2：一般論文集　日外ｱｿｼｴｰﾂ 1993（本館）
論文集内容細目総覧　3:シンポジウム・講演集日外ｱｿｼｴｰﾂ 1994（本館）
Dictionary of Organic Compounds 6th ed.,Vol.10:Suppl.1（本館）
環境規制と公衆衛生（ビデオ全8巻）　ジェムコ 1994（分館）
Gowerスライド集成:解剖学と基礎医学編(1)バイオケミストリー　（分館）

学生用充実図書（人文社会科学系）

平成８年度教育研究特別経費により購入しました。(配架場所：本館)

１　一般教養図書

会津八一全集（全12巻）　中央公論社
明るい街へ　集英社
新しい中国文学（全６巻）　早稲田大学出版会
アフリカの21世紀（全3巻）　勁草書房
アントナン・アルトの帰還　河出書房新社
石橋湛山全集（全15巻）　東洋経済新報社
いのち　8人の医師との対話　講談社
Ｅ．Ｍ．フォースター著作集（全12巻別巻１）　みすず書房
生きがいの創造　ＰＨＰ研究所
ＥＱ　こころの知能指数　講談社
生きるヒント　１～４　文化出版社
インターネット５つの予言　ダイヤモンド社
インターネット探検　講談社
浮世絵美術館（全６巻）　角川書店
うさぎにもわかる経済学　ディスカヴァー
海ほうずき　文芸春秋
江戸時代ひとづくり風土記(全50巻)　農文協　（継続受入中）
エマソン魂の探求　日本教文社
演劇年鑑　1966～87（22冊）　早川書房
エンデ全集（全19巻）　岩波書店　（継続受入中）
老い方の探求　新潮社
欧州紀行　エッセイ集　ふらんす堂
開高健全集（全22巻）　新潮社
介護革命　ベネッセ
加賀百万国　講談社
科学と技術　これからの５年間　早川書房
科学者の生活と意見　早川書房
ガロアの生涯　日本評論社
韓国の現代文学（全６巻）　柏書房
環境思想の系譜（全３巻）　東海大学出版会
官制破産　徳間書房
北国　東京創元社
拒絶する沖縄　近代文芸社
近代の詩人（全10巻別巻１）　潮出版社
近代学問理念の誕生　早川書房
国盗り物語　前編　斎藤道三　文芸春秋
国盗り物語　後編　織田信長　文芸春秋
暮らしがわかるアジア読本　第１期(全４巻)　河出書房新社
群像日本の作家（全23巻）　小学館　（18　品切れ）
現代思想の冒険者たち（全31巻）　講談社　（継続受入中）
現代社会と宗教　岩波書店
国民の油断　ＰＨＰ研究所
こころ・と・からだ　集英社
心にのこる言葉（全３巻）　河出書房新社
心のくすり箱　岩波書店
古事記研究大系（全12巻）　高科書店　（継続受入中）
ザ・スポーツノンフィクション（全15巻）　東京書籍
死の医学への日記　新潮社
司馬遼太郎　ＰＨＰ研究所
司馬遼太郎　歴史は文学の華なりと　小沢書店
司馬遼太郎「この国」への言葉　憂国の発言
司馬遼太郎の遺産「街道をゆく」　朝日新聞社
司馬遼太郎の世界　文芸春秋
司馬遼太郎の世紀　朝日出版社
司馬遼太郎の贈りもの　ＰＨＰ研究所
司馬遼太郎をやさしく読む　ベストセラーズ
司馬遼太郎読本　徳間書店
澁澤龍彦翻訳全集(全15巻　別巻１)　河出書房新社　（継続受入中）
ジャコメッティ作品集　リブロポート
ジャン・コクトー全集（全８巻）　東京創元社
就職浪人をしないために　日本図書刊行会
初級技法講座（全14巻）　美術出版社
勝者のシステム　講談社
情報力をつける　日本経済新聞
食と農の戦後史　日本経済新聞
シリーズ基本を学ぶために（全15巻）　ベースボールマガジン社
人生を築く時間の刻み方　産業能率大学出版部
新芭蕉講座（全９巻）　三省堂
図説日本の歴史　県域別（全47巻）　河出書房　（継続受入中）
スーパーマップシリーズ（全18冊）　昭文社
生と死　心の深層　はまの出版
西洋の音楽と社会（全12巻）　音楽之友社
世界を巡る（全38冊）　東京書籍
世界再発見（全10巻）　同朋舎出版
世界女流作家全集（全８巻）　本の友社

世界政治の構造変動（全4巻）　岩波書店
洗練の法則　講談社
漱石とその時代　新潮社
漱石と河上肇　藤原書店
ソクラテスのカフェ　紀伊国屋書店
大学とは何か　法政大学出版局
大変な時代　講談社
琢木の風景　洋々社
旅の民俗と歴史（全10巻）　八坂書房
知性を究める食脳学　講談社
地域が語り始めた　電通出版
地域の活力と魅力（全６巻）　ぎょうせい
中国学芸叢書（全28巻）　創文社　（継続受入中）
中国歴史人物選（全12巻）　白帝社
中山義秀自選歴史小説集（全10巻）宝文館出版　（継続受入中）
中世思想原典集成（全20巻）　平凡社　（継続受入中）
定本作家の仕事場　新潮社
寺田寅彦全集（全17巻）　岩波書店　（継続受入中）
テロリストのパラソル　講談社
東西交流叢書（全8巻）　雄松堂出版
奈良絵本絵巻集（全12巻）　早稲田大学出版部
新島襄全集　同朋舎出版
20世紀の歴史（全２巻）　三省堂
20世紀フォトドキュメント（全10巻）　ぎょうせい
20世紀を問う　慶応義塾大学出版会
ニホン語日記　文芸春秋
日本スポーツ史（全３巻）　日本図書センター
日本の学術研究動向　早川書房
日本の国家予算　講談社
日本の大自然（全20巻）　毎日新聞社
日本の美徳　光文社
日本の旅が見えてくるＪｶﾞｲﾄﾞｼﾘｰｽﾞ（全26冊）山と渓谷社 品切有
日本人の科学　岩波書店
日本政治史の中の知識人（全２巻）　木鐸社
日本美術年鑑　昭和31～平成5（35冊）　早川書房
日本文化のゆくえ　第三文明社
日本平和論大系（全20巻）　日本図書センター
ハーバード・クラッシク全葉（全12巻）　ディック
ハーバード流歴史活用法　三嶺書房
パスキン　岩崎美術社
鳩山一族　ぴいぷる社
パンドラの遺産　ビジネス社
東ヨーロッパの文学（全34巻）　恒文社
風塵抄１～２　中央公論社
フェルメール画集　リブロポート
不完全性定理　日本評論社
蕪村全集（全９巻）　講談社　（継続受入中）
ブロンテ全集（12巻）　みすず書房
文化人類学（全13巻）　岩波書店　（継続受入中）
文芸年鑑　昭和23～平成５（46冊）　早川書房
文明と環境（全15巻）　朝倉書店
ホイジンガ選集（全６巻）　河出書房新社
亡国の徒に問う　文芸春秋
万華鏡　講談社
万葉地理研究論集（全４巻）　秀英書房
見果てぬ夢にサイド・アタック　筑摩書房
無用文字　潮出版
明治末期の暮らし　あまのはしだて出版
燃えあがる緑の木１～３　新潮社
森を守れが森を殺す　洋泉社
柳田国男と近代文学　講談社
山本周五郎テーマ・コレクション（全10巻）　新潮社
酔いどれ列車　ﾓｽｸﾜ発ﾍﾟﾄｳﾝ行　国書刊行会
吉村昭自選作品集（全16巻）　新潮社
寄り道して考える　ＰＨＰ研究所
ライブラリ社会学（全10巻）　サイエンス社　続巻（継続受入中）
歴史のフロンティア（全37巻）　山川出版　（継続受入中）
歴史発掘（全12巻）　講談社　（継続受入中）
蓮如　中央公論社
忘れる脳・覚える脳　文芸春秋
Administrative Reform Comes of Age（行政改革時代の到来）W.de Gruyter

2　辞典；統計書類
朝日日本歴史人物事典　朝日新聞社
遺伝学用語辞典　４版　東京化学同人
英語史総合年表　研究社
英文日本文学大辞典　講談社
英米文学研究文献要覧1990～1994　日外アソシエーツ
音楽家人名事典　日外アソシエーツ
化学ハンドブック　朝倉書店
画像電子ハンドブック　新版　コロナ社
口語英語大辞典　英和・和英　朝日出版
国立国会図書館所蔵洋図書目録　昭和61年９月～平成２年12月　1992
国立国会図書館所蔵洋図書目録　平成３年～平成７年　1996
雑誌記事索引集成　社会科学編　第１期　晧星社
雑誌記事索引集成　人文科学編　第１期　晧星社
市町村名変遷系統図総覧（全３巻）
事典家族・家庭・女性・老人　弘文堂
事典昭和戦後期の日本　吉川弘文館
辞典・事典総合目録　1996　出版ニュース社
辞典叢書　1～17巻　東出版
縄文時代研究事典　東京堂出版
昭和災害史事典（全５巻別巻）　日外アソシエーツ
新訂最新海外作家事典　日外アソシエーツ
人文社会全集講座内容綜覧　社会編　日外アソシエーツ
人文社会全集講座内容綜覧　人文編　日外アソシエーツ
世界経済統計　1973～1993年　世界銀行編　東洋書林
世界史大年表　山川出版
世界人口長期推計　1990～2150年　世界銀行編　東洋書林
世界人物逸話大辞典　角川書店
世界文学大辞典（全６巻）　集英社　（継続受入中）
世界を学ぶブックガイド「世界地域研究基本文献目録」
20世紀西洋人名事典　日外アソシエーツ
日本外交史辞典　山川出版
日本現代文学大事典　明治書院
日本人口統計集成　第１期　全７巻　東洋書林
日本人口統計集成　第２期　全７巻　東洋書林
日本文学研究文献要覧　現代日本文学　1975～1989　日外ｱｿｼｴｰﾂ
日本文学研究文献要覧　古典文学　1975～1989　日外アソシエーツ
日本民俗語大辞典　おうふう
ノーベル賞受賞者業績事典　日外アソシエーツ
俳文学大辞典　角川書店
フランス語フランス文学研究文献要覧87/88～1992　日外アソシエーツ
フランス文化史事典　原書房
文学賞受賞作品図書目録　日外アソシエーツ
ポピュラー音楽人名辞典　日外アソシエーツ
翻訳小説全情報45／92　日外アソシエーツ
Maruzen高分子大辞典　丸善
Les livres disponibles（French books in print）1996
Verzeichnis lieferbarer Bucher（German books in print）1995/96

3　ビデオ
大江健三郎文学再入門（全12巻）　ビデオ　丸善
経済文献の達人（全3巻）　ビデオ　丸善
太平洋の世紀　ｱﾒﾘｶ人ｼﾞｬｰﾅﾘｽﾄが見たｱｼﾞｱ（全10巻）　ビデオ　丸善
都市経営（全15巻）　ビデオ　放送大学教育振興会
21世紀の都市戦略（全３巻）　ビデオ　丸善
八十七歳の青春　市川房枝生涯を語る　ビデオ　丸善
美術史と美術理論（全15巻）　ビデオ　放送大学教育振興会

教官寄贈図書（本館・分館所蔵分）

ここには学内の教官が著作・編集・刊行等に関係した図書で、図書館に寄贈された分を掲載しています。御寄贈ありがとうございます。引き続き御寄贈をお願いいたします。
なお、これらの図書は、図書館入り口フロアーに一定期間展示していますのでご覧下さい。(貸出等も行っています)

杉原　利治（教育学部）
アーミッシュの謎 ﾄﾞﾅﾙﾄﾞ・B・ｸﾚｲﾋﾞﾙ著 論創社　1996

仁田　昌二（工学部）
Amorphous Semiconductors, Pt.1-2　清水立生編著　North-Holland 1996

惠良　聖一（医学部）
マルチ機能タンパク質：血清アルブミン　惠良聖一著　共立出版　1996

河田　幸道（医学部）
尿路感染症の基礎と臨床　河田幸道編　日本醫事新報社　1992

宮田　英雄（医学部）
耳鼻咽喉科・頭頸部外科クリニカルトレンド　野村恭也他編　中山書店　1996

玉舎　輝彦（医学部）
更年期医療Q＆A　玉舎輝彦編　医歯薬ジャーナル　1996
産婦人科薬物療法のすべて　玉舎輝彦著　金芳堂　1996

岩田　弘敏（医学部）
家庭と地域社会でできるぼけゼロ作戦　岩田弘敏著　岐阜新聞社　1996

植木　啓文（医学部）
みんなで学ぶ精神分裂病　ダニエル・ヘル他著、植木啓文他訳　星和書店　1996

野間　昭夫（医学部）
リポ蛋白（a）のすべて　野間昭夫著　中外医学社　1996

平成９年度岐阜大学附属図書館関係委員会委員

	附属図書館委員会委員	資料選定委員会委員	館報編集委員会委員	自己評価委員会委員	図書・紀要編集委員会委員（医学部分館）
館長	梶山雅史	梶山雅史	梶山雅史	梶山雅史	正村静子
医学部分館長	正村静子	正村静子		正村静子	植松俊彦
教育学部	関根清			関根清	清水克時
〃	渡辺光雄	渡辺光雄			小出浩之
地域科学部	近藤眞庸		近藤眞庸	近藤眞庸	原明
〃	中川一雄	中川一雄			加藤直樹
医学部	植松俊彦	植松俊彦			杉江茂幸
〃	加藤直樹			加藤直樹	鷹津久登
工学部	村井由宏			村井由宏	永田知里
〃	矢ヶ崎一幸	矢ヶ崎一幸			大洞尚司（4.1～5.31）
農学部	柵木利昭	柵木利昭			
〃	柳田洋吉		柳田洋吉	柳田洋吉	中島和也（6.1～　）
医療技術短期大学部	山崎捨夫	山崎捨夫	山崎捨夫	山崎捨夫	山川弘保
（事務部）		大西隆司	青木利根男	山口博基	川口真平
		村上喜廣	村上喜廣	大西隆司	
		川嵜正広	上口正昭	青木利根男	

職員の異動　平成９年３月～６月

3.30	退職	辻　八月	情サ課図書係
4. 1	昇任	堀　秀廣	情管課総務係長心得（情管課総務係総務主任）
〃	配置換	鈴木　精一	農学部附属農場（情管課総務係長）
〃	〃	松村　規義	情管課総務係管理主任（医学部総務課総務係主任）
〃	〃	西　由美子	情管課目録情報係（情サ課学術情報係）
〃	〃	波多江貴子	情サ課学術情報係（情管課目録情報係）
〃	〃	中川理絵子	情サ課閲覧係（情管課総務係）
4. 1	転任	川嵜　正広	情管課資料受入係長（愛知教育大学）
〃	〃	高木　昭	名古屋工業大学（情管課目録情報係長）
〃	〃	福井　千都	愛知教育大学（情サ課閲覧係）
〃	採用	下田　香織	情サ課図書係
5.31	退職	丸毛　りか	情管課資料受入係
6. 1	採用	小川　薫	〃

注：（　）内は旧。
情管課は、情報管理課の略
情サ課は、情報サービス課の略

お知らせ

○奈良絵本「小しきふ 上（下）」のフォトCD化について

このたび、本学図書館所蔵の貴重書である「小しきふ 上（下）」をCD－ROMの形で利用できるようにしましたので、ご案内します。これは、普段、保存の面から簡単に利用できない貴重書等を電子化して、広く利用できるようにしたもので、現在、図書館が進めている電子的図書館サービスの試みの一環として作成したものです。館内のパソコンで閲覧できるほか、一般貸出も行っていますので、ご利用ください。

なお、今後はインターネット上の図書館のホームページによる公開も行って内容の充実を図っていく予定です。

○雑誌記事索引CD-ROM（ネットワーク対応）版について

本館では、雑誌記事索引（国立国会図書館発行）の冊子体が発行中止になってから、雑誌記事索引CD－ROMをスタンドアローン方式で利用していただいていますが、このたび、図書館外（研究室等）から利用可能なネットワーク対応版（同時アクセス：5ユーザー）を購入しますのでお知らせします。

なお、利用方法等は、図書館ホームページ及び次号の館報（23号）に載せる予定でいますのでご覧ください。

年間開館スケジュール
（1997年4月～1998年3月）

○印：休館日
＿印：夜間開館を行わない日

1997

4

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
⑥	7	⑧	9	10	11	12
⑬	14	15	16	17	18	19
⑳	21	22	23	24	25	26
㉗	28	㉙	30			

5

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	③
④	⑤	6	7	8	9	10
⑪	12	⑬	14	15	16	17
⑱	19	20	21	22	23	24
㉕	26	27	28	29	30	31

6

日	月	火	水	木	金	土
①	2	3	4	5	6	7
⑧	9	⑩	11	12	13	14
⑮	16	17	18	19	20	21
㉒	23	24	25	26	27	28
㉙	30					

7

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
⑥	7	⑧	9	10	11	12
⑬	14	15	16	17	18	19
⑳	㉑	22	23	24	25	26
㉗	28	29	30	31		

8

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
③	4	5	6	7	8	9
⑩	11	⑫	13	14	15	16
⑰	18	19	20	21	22	23
㉔	25	26	27	28	29	30
㉛						

9

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
⑦	8	9	10	11	12	13
⑭	⑮	16	17	18	19	20
㉑	22	㉓	24	25	26	27
㉘	29	30				

10

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
⑤	6	7	8	9	⑩	11
⑫	13	⑭	15	16	17	18
⑲	20	21	22	23	24	25
㉖	27	28	29	30	31	

11

日	月	火	水	木	金	土
						1
②	③	4	5	6	7	8
⑨	10	⑪	12	13	14	15
⑯	17	18	19	20	21	22
㉓	㉔	25	26	27	28	29
㉚						

12

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
⑦	8	⑨	10	11	12	13
⑭	15	16	17	18	19	20
㉑	22	㉓	24	25	㉖	㉗
㉘	㉙	㉚	㉛			

1998

1

日	月	火	水	木	金	土
				①	②	③
④	⑤	6	7	8	9	10
⑪	12	⑬	14	⑮	16	17
⑱	19	20	21	22	23	24
㉕	26	27	28	29	30	31

2

日	月	火	水	木	金	土
①	2	3	4	5	6	7
⑧	9	10	⑪	12	13	14
⑮	16	17	18	19	20	21
㉒	23	24	25	26	27	28

3

日	月	火	水	木	金	土
①	2	3	4	5	6	7
⑧	9	⑩	11	12	13	14
⑮	16	17	18	19	20	㉑
㉒	23	24	25	26	27	28
㉙	30	31				

開館時間：平日20時まで（本館は、月・火曜日のみ22時まで）
　　土曜日は、本館・10～16時、医学部分館・11時から17時
休 館 日：日曜日・国民の祝日・休日、年末年始
　　第２火曜日（医学部分館は、午前中のみ休館）
夜間開館を行わない日：夏期・冬季・春季休業期間中及び３月の平日（本館のみ）
上記以外の臨時休館日等については、館内掲示等によりお知らせします。

岐阜大学附属図書館報「寸胴」第22号　1997年６月30日
編　集　委員長：梶山雅史　委員：近藤眞庸，柳田洋吉，山崎捨夫，青木利根男，村上喜廣，上口正昭
発　行　岐阜大学附属図書館
〒501－11　岐阜市柳戸１番１　☎ 058－293－2184